



元気な高齢者に

いつでもいつからでも参加していただけます。どちらも講師を派遣しています。



もしもノート

シンプルで書きやすく、多くの人に受け入れやすいように工夫してつくりました。

ノートの特色

自分のことは自分にしか分かりません。自分に必要だと思うことは、すぐにしっかりと書いておくことをお奨めします。



とまとエクササイズ

介護予防とストレス解消を目的として、笑う、演ずる、歌う、体力維持体操、生の楽器の演奏などを組み合わせた楽しいエクササイズです。

大往生の勉強会

良く生きてよく逝くための勉強会「人が命を全うして安らかに人生をしめくくること」大往生にいたる暮らしの安心と安全を守り、良く生きるために必要な終末医療のこと、成年後見、遺言・相続、葬送のことなど役立つ情報を提供し、ともに学びます。

—20歳から100歳までの危機管理—

「もしも」が突然やってきたとき、家族や世話になる周囲の人がその人について何も分からなくては困ります。誰もが「もしも」と出会う危機にさらされる恐れがあります。そんなときに役立つのが「もしもノート」です。自分が伝えたいこと、やって欲しいこと、やっては欲しくないことなどを簡単に書くことが出来る「もしもノート」を使って、心の準備、その時の準備をしておきましょう。

特色

1. 私たちが、安心・安全な暮らしをするには、それに必要な正確な情報を手に入れなければなりません。ノートへの記入が役立ちます。
2. 危機は思わぬところにあるものです。その時の判断には日頃から「自己管理」をして「危機」に備えなくてはなりません。「自己管理」は「危機管理」につながります。
3. 私たちにとって、明日の暮らしが今日のそれとは異なることが間々あります。家族や世話になる人への「私の情報」は、実際に役立つものでなくてはなりません。できるだけ今のことを伝えたいものです。「もしもノート」は簡単に書きやすく、分量が多すぎず、何回書き直しても金銭的負担が軽く、伝えなくてはならないことの中身を濃くするように努めました。

LEC葬の施行

12年間に沢山の会員の方、その身内の方の葬儀をさせていただきました。ただ1度も同じものは行っていません。いつも送られる方と送る方に心を通わせて行うことに努めてきました。

里山ベリートラスト

大変難しいことですが、実現への1歩を踏み出しました。

LECでは12年にわたって会員のための葬儀を行ってきました。葬儀にかかる費用は人生の中で大きな支出の一つです。どのくらいが適正なのか分かりにくく、また、死に直面して動転した精神状態で契約してしまいがちです。現在葬儀の多くが「家族葬」「直葬」など名付けられて行われていますが、その内容についての決まり事はありません。「家族葬」の家族の範囲、「直葬」(葬儀式をしない)場合の見送り方など戸惑うということになりがちです。どんな場合にも心を込めた身の丈にあった送り方があります。生前にご相談下さい。

私たちは「里山保全埋葬預託事業」と言っています。亡くなったら自然の土に還り(自然による浄化)葬送と自然との調和を図り、里山保全と再生を行うことを目指しています。墓地づくりによる造成は最小限にし、自然資源を最大限活かします。跡継ぎのいない人にも安心して求められる墓地づくりを行います。